

## パリ条約と戦争

① 1763年 ( )

北米・インドでの植民地戦争の講和条約  
イギリスがフランスに圧勝し、  
イギリスのアメリカ大陸とインドにおける優位が確定

(フランスからイギリスへ)

・( )

・( )

・( )

(フランスからスペインへ)

・( )

(スペインからイギリスへ)

・( )

【スペインが関係しているのは】

スペインがフランスと同じブルボン家が君主であり、七年戦争では  
フランス側（オーストリア側）で戦争に参加していた。

② 1783年 ( )

アメリカ合衆国の独立をイギリスが認めた条約  
( )をアメリカに割譲

③ ★ 1814年 ( )後の列国のフランスへの講和条約

対仏大同盟諸国とナポレオン退位後に擁立された( )との間で結ばれたもの。  
イギリスは、( )、( )、( )を獲得。  
( )の開催を決定。  
第1次パリ条約と言われる。

④ ★ 1815年

( )を脱出して皇帝に復位したナポレオンを  
( )で破った後、( )と対仏大同盟諸国の間で結ばれた条約。  
第2次パリ条約と言われる。

⑤ 1856年 ( )の講和条約

- ・ロシアのベッサラビアをモルドバ公国に譲ること
- ・ロシアの( )の自治権を認めること。
- ・( )・( )両海峡の閉鎖
- ・ドナウ川の自由航行
- ・( )の中立化

→ロシアの南下政策を阻止。

しかし、1877年 ( )の( )でロシアは南下政策を進めたため、イギリスは反発。ビスマルク「誠実な仲買人」として ( )開催。

⑥ 1898年 ( )の講和条約

米西戦争は ( )の反スペイン独立支援と、ハバナ港における米軍艦メイン号の爆沈を口実にアメリカから開戦。スペイン植民地のフィリピンも戦場となった。

- ・ ( )の独立
- ・ ( )、( )、( )をアメリカは獲得

米西戦争後のアメリカは ( )の中国に関する ( )などモンロー主義を捨てて帝国主義政策を推進。

⑦ ★1947年 ドイツ、オーストリア以外のヨーロッパの旧枢軸国と連合国間の第2次世界大戦の講和条約

対象国は、イタリア、ブルガリア、ルーマニア、ハンガリー、フィンランド。1937年段階の国境に戻すことや軍備制限、賠償金などが約束させられたが、( )の影響力が強いブルガリア、ルーマニア、ハンガリーは少しの軍備縮小だった。